速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月23日
19：00発行　№16
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

ＪＲ貨物労組が全国から被災者支援

支援行動レポートvol. 5

ＪＲ貨物労組は16日から、ＪＲ貨物労組・貨物労連の被災者への激励と支援物資を届けるため、支援部隊を派遣しています。

第２次支援で19日から仙台などを訪れたＪＲ貨物労組本部と関東地本、関西地本、ＦＬ労組は、ＪＲ貨物労組東北地方本部に灯油やガソリン、食糧や生活物資などを届け、組合員らを激励しました。

仙台市の仙台臨海鉄道と仙台臨海通運が入った建屋は津波の爪痕が痛々しく、貨車の台車が外れ、コンテナも津波に流されて街中に散乱、フォークリフトや乗用車も無残な姿を晒しています。石巻市にある製紙工場の製品などを積み出す石巻港駅では、DE10 型ディーゼル機関車が脱線し、路盤も陥没しています。想像を越える現地の被災状況の甚大さから、復旧が懸念されます。

一方で、被災地への物資輸送においては鉄道の物流の特性を活かし、18 日からガソリンなどの燃料を大量に輸送するなど、復興に大活躍。今後も新たな輸送ルートも加わり、増便されます。

国鉄改革から25年を前に、大きな試練に立たされたＪＲ貨物労組は、組合員の雇用と全国ネットワークを守る闘いに、全力で取り組んでいます。今後も第８次まで現地派遣を計画するなど、継続した支援を予定しています。

【写真上から】津波に襲われた仙台臨海鉄道と仙台臨海通運の建屋／津波に流されたフォークリフトと自動車／支援物資を届けたＪＲ貨物労組本部・関東地本・関西地本・貨物労連／(左)石巻港駅構内で脱線した機関車